

# 平成24年度 6月補正予算案の概要

京 都 府



# 補正予算の内容

今夏の電力不足緊急対策

**要配慮者安全確保、緊急節電対策**

省エネルギー社会への転換対策

**中小企業エネルギー対策交付金の創設**

医療体制充実対策

**与謝の海病院 医大附属病院化 他**

# 今夏の電力不足緊急対策



# 要配慮者安全対策

○万一の停電時に備えたセーフティネットの確保や、  
高齢者の熱中症の予防

停電時等要配慮者支援事業費

40百万円

施設対策

- ◆病院、社会福祉施設等入所者の安全確保  
施設利用者の酸素吸入器等に必要な電力の確保  
→ ポータブル発電機の導入支援

(購入費の1/2を補助:上限20万円)

→ 特別養護老人ホーム等を中心に 200カ所 程度

在宅高齢者等対策

33百万円

- ◆在宅高齢者等の安全確保  
→ 民生児童委員等による高齢者への熱中症の予防啓発活動  
→ 涼やかスポットの設置 (社会福祉施設等)



## 中小企業等の節電支援

○中小企業者の節電△15%に向けた取組みを緊急支援

### 中小企業等エネルギー対策交付金（緊急分）

100百万円

◆中小企業ステップアップ事業（H24当初1億円）を拡充し、今夏の節電にかかる取組みを緊急支援

○補助対象：空調のメンテナンス、節電シフト体制の導入  
ポータブル発電機の導入 等

○補助率：1／2（上限30万円）

### 休日保育等支援事業費

1百万円

◆休日保育等支援

企業の節電シフトに対応した休日保育等の受入体制整備  
→ 休日・延長保育を行う保育所等に対し補助を実施



# 家庭対策

クールスポット推進事業費

24百万円

取組の後押し

◆府立の文化施設等をクールスポットとして活用

プール利用料半額(平日)

山城総合運動公園  
伏見港公園  
丹波自然運動公園

拡大

有料施設の無料開放

京都文化博物館  
堂本印象美術館  
ふるさとミュージアム山城  
ふるさとミュージアム丹後

昨年に引き続き

○市町村所有施設、民間集客施設にも協力要請  
コミュニティーセンター、ショッピングモール、  
レジャー施設等





# 府庁率先行動

- 節電目標を 通常ピーク時  $\Delta 15\%$  に設定
- 電力需給ひっ迫時には、最大 $\Delta 29\%$ を可能とする節電体制を準備

率先行動

## 府庁節電対策費

74百万円

- ◆総合庁舎等の電力使用状況の監視強化  
→タイムリーで確実な電力使用量カットを実施
- ◆電力ひっ迫時に、非常用自家発電装置を稼働  
→ひっ迫時の節電に対応

# 省エネルギー社会への 転換対策





# 中小企業等エネルギー対策

○中小企業等の省エネ型経営への体質転換を促進

## 中小企業等エネルギー対策交付金(中長期分)

205百万円

### ◆エネルギー自立化対策支援補助

○補助対象: 自家発電設備、太陽光発電設備、蓄電池 等

○補助率 : 1/3

◇京都産業エコ推進機構を、  
京都産業エコ・エネルギー推進機構(仮称)へ改組

→ 新交付金をツールに、  
中小企業等の省エネ型経営への転換を徹底支援

# 医療体制充実対策



# 与謝の海病院の充実

○附属病院化に向けた、救急・総合医療、  
研究体制等の整備

## 与謝の海病院医科大学附属病院化推進費

440百万円

- ◆救急室、内視鏡室の拡張等、医療環境を充実
- ◆研究室の整備や医大との間で症例検討システムを構築し救急医療・総合医療を充実

附属病院化時期 平成25年4月【予定】

## 医科大学附属病院機能強化検討費

2百万円

- ◆府立医大附属病院における、与謝の海病院のバックアップ体制、高度医療のあり方等を検討



# 南部ドクターヘリの運航開始

○府北部地域に続き、南部地域(南丹地域以南)でも  
ドクターヘリの運航開始

## 府南部ドクターヘリ共同運航事業費

15百万円

- ◆開始時期 9月中に府南部地域で全面運航  
(7月中旬以降、試験飛行の終了等、  
準備が整った地域から順次運航開始)
- ◆運航方法 大阪府と共同運航

来年4月からは関西広域連合で





# 補正予算の規模

一般会計 740百万円台

6月補正後予算額 895,289百万円

【 参 考 : 23年6月補正後 912,059百万円 】

その他会計 補正予算額 475百万円台